

土木

962

鐵道
河川
橋梁
道路



欽定四庫全書
通鑑纂要

卷八



下村
甲第八一八號
受附印
手四年三月五日

晨ニ而照會置行株式會社京釜鐵道株式
申込期限十一月三十日迄ニ有之矣又同日付申込
ニ限リ本月十五日迄取振ノ趣ニ有之矣以
告一紙、以達相成言及通牒依也

明治三十五年十二月四日

小嶋義知

各町村長殿

目下看、工事進行中、大工、

集、上、

Handwritten text in a large rectangular frame, likely a ledger or account book. The text is written in cursive and includes various entries and numbers.

甲 五八
世 八

乙才二五

東、所、清、永、水、正、所、合、共、進、合、名、院、
若、深、在、任、割、引、考、多、以、通、及、所、送、附、

也

明治四年八月

小松野江

才、乙、



城、上、お、長、殿

拾、四、枚

牧田

牧田

小縣郡城下村役場回議用紙



八十八

明治三十四年 第

號 八月二日 月 日

長

助役

掛

新設所用各

接

住片岡元平

田第廿五號ヲ以テ街路會有之候鐵道西條迄開通ノ
事タノ影響著シキ荷積馬車ニテ現ニ昨午ニ比
拾壹輛減シ候轉ハ別段ニ里動無之候此段乃街路部
候

得凡

小縣郡城下村役場

the end

۱۷۱۰

[illegible]

卷之五

世宗憲皇帝

四六三十四

華

報
計

八
十
二

自
一
商友行

四

Gr

小兒學始不吐乳食

甲辰戊午



洪武甲辰孫隆孫西華並一在

右未夕御差出無之二日至急御差出有
之度及督但候也
明治三十九年一月一日

小縣郡役所

城二五
役場御中



2.1.26

謝
安
石
詩



此遊石可送子

118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200
 201
 202
 203
 204
 205
 206
 207
 208
 209
 210
 211
 212
 213
 214
 215
 216
 217
 218
 219
 220
 221
 222
 223
 224
 225
 226
 227
 228
 229
 230
 231
 232
 233
 234
 235
 236
 237
 238
 239
 240
 241
 242
 243
 244
 245
 246
 247
 248
 249
 250
 251
 252
 253
 254
 255
 256
 257
 258
 259
 260
 261
 262
 263
 264
 265
 266
 267
 268
 269
 270
 271
 272
 273
 274
 275
 276
 277
 278
 279
 280
 281
 282
 283
 284
 285
 286
 287
 288
 289
 290
 291
 292
 293
 294
 295
 296
 297
 298
 299
 300
 301
 302
 303
 304
 305
 306
 307
 308
 309
 310
 311
 312
 313
 314
 315
 316
 317
 318
 319
 320
 321
 322
 323
 324
 325
 326
 327
 328
 329
 330
 331
 332
 333
 334
 335
 336
 337
 338
 339
 340
 341
 342
 343
 344
 345
 346
 347
 348
 349
 350
 351
 352
 353
 354
 355
 356
 357
 358
 359
 360
 361
 362
 363
 364
 365
 366
 367
 368
 369
 370
 371
 372
 373
 374
 375
 376
 377
 378
 379
 380
 381
 382
 383
 384
 385
 386
 387
 388
 389
 390
 391
 392
 393
 394
 395
 396
 397
 398
 399
 400
 401
 402
 403
 404
 405
 406
 407
 408
 409
 410
 411
 412
 413
 414
 415
 416
 417
 418
 419
 420
 421
 422
 423
 424
 425
 426
 427
 428
 429
 430
 431
 432
 433
 434
 435
 436
 437
 438
 439
 440
 441
 442
 443
 444
 445
 446
 447
 448
 449
 450
 451
 452
 453
 454
 455
 456
 457
 458
 459
 460
 461
 462
 463
 464
 465
 466
 467
 468
 469
 470
 471
 472
 473
 474
 475
 476
 477
 478
 479
 480
 481
 482
 483
 484
 485
 486
 487
 488
 489
 490
 491
 492
 493
 494
 495
 496
 497
 498
 499
 500
 501
 502
 503
 504
 505
 506
 507
 508
 509
 510
 511
 512
 513
 514
 515
 516
 517
 518
 519
 520
 521
 522
 523
 524
 525
 526
 527
 528
 529
 530
 531
 532
 533
 534
 535
 536
 537
 538
 539
 540
 541
 542
 543
 544
 545
 546
 547
 548
 549
 550
 551
 552
 553
 554
 555
 556
 557
 558
 559
 560
 561
 562
 563
 564
 565
 566
 567
 568
 569
 570
 571
 572
 573
 574
 575
 576
 577
 578
 579
 580
 581
 582
 583
 584
 585
 586
 587
 588
 589
 590
 591
 592
 593
 594
 595
 596
 597
 598
 599
 600
 601
 602
 603
 604
 605
 606
 607
 608
 609
 610
 611
 612
 613
 614
 615
 616
 617
 618
 619
 620
 621
 622
 623
 624
 625
 626
 627
 628
 629

甲第四十五号

鐵道中央幹線西奈通關通
影獨音土地盛

衰ヲ来ルシタル事實地方より著シカニヘク被存候也苟モ

其空衰人情况便令

戶數、増減富貴、例磨及其收入、多寡又、交通

物件増減並其盛衰ヲ証スヘキ事實ニウキ計也

以テ調査得ルモノ其計數ヲ示シ
未ニ七月未迄

一曰報相成度生殿及照會候也

三子青 六月元

明治三十四年六月二日

小縣郡役所

第一課



城山 長 殿

Faint vertical text in the background, likely bleed-through from the reverse side.

城山 甲第 三九二 號
三二年二月六日



丙子三月九日
從來信紙線、我々用和里紙、義ハ地方廳
、依款ニ来々知有、當人主和里紙及用
而着通、満リ多般整理ノ為、關係以不
、或ハ紙割、必要有之時、長持係線事務
所、更ナ張可出、是レ日便宜ヲ共ニナシ、其
、計主、既ニ及照、其也

明治三十四年六月二日



丁未年二月

城下長



[Faint, illegible handwritten text in vertical columns]

明治三十三年 甲第...

長野 城下 水...

本月十四日訓令...

代理

印

長

城下村長 田中 幸次郎 敬

小縣郡役所 第三回課

[Faint, illegible handwritten text in the background]

明治三十二年 甲第三三三號 九月三日 月 日

長野 城下 助役 水宮 邦夫 作

本月十四日訓令云拾参騎ヲ以テ所駐會五ヶ所至水
害調別表記入ニ通ニ至間此水乃報知云々

お長 代理

即 行

郡長 宛

土木金匱

小縣郡城下村役場回議用
十一月十五日
施行
主
任
片岡元市訂

107 ml 水

紅花

二 敬請注意

1. The first part of the document is a letter from the author to the editor, dated 1890. It discusses the author's views on the state of the country and the need for reform. The letter is written in a formal, polite style, typical of the late 19th century.

安

子思子之學也自以爲人而一

林

世世圖示不傳

卷三十四 平

第十四回

十一
四
五

不親後姓不性前裏回言里

五

甲子八二

悞防上，韃草_二芝_一繁茂_三妨_二且悞防_二龜裂

法崩尋尺之容易。以難。尋。不。似。了。時。

川西乃懋功維特上得秉上
河、美、付、今、後

取錄二市監督臣玄幹奏州取力迅高英一

五
地
元
癸
陰
者
レ
利
取
レ
反
本
物
一
通

古：扶一此飯在移碟中

昭和二十四年十月一日

小
孫
氏
氏
氏

一

增
木
長
秋



博多長津宮寧殿

[Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.]

小縣郡城下村役場回議用紙

明治三十三年乙第七一九號 十一月六日 行

長

助役

掛

佐田元一郎

名件

按

里道修繕工事施行、件、市協議、
 件、市、百、来、几、十、年、前、九、時、有、役、場、入、市、
 集、相、成、な、地、段、市、道、を、上、り、
 他、本、件、の、重、要、な、件、市、に、
 相、成、な、地、段、市、道、を、上、り、
 相、成、な、地、段、市、道、を、上、り、

少長

土木系負完



張一清次子張一清

[Faint, mostly illegible handwritten text in Chinese characters, possibly bleed-through from the reverse side.]

八

庚申年七月廿

張一清次子張一清

張一清次子張一清

張一清次子張一清



張一清次子張一清

城下長田宗太郎

長野縣指令甲一收第一六二四號

小縣郡城下村大字中之條

地租吏員總代田中傳太郎

明治三十三年五月二日付願出木費寄附之件
聞届夕

明治三十三年五月三十一日

長野縣知事押川則吉

身裡謀事 咎川限去

溫清 10 + 11 114 44 114 / 114

一、

調年三十三年五月二日付願出本費番附二付

田中幹太

不親得可故大率中二刻

尋理錄 計全甲一冰策一六二四

號
月
號

卷之三

後、少少、中、之、事、は、一、止、み、成、り、
 日、本、に、移、り、海、外、に、行、き、ま、た、泥、に、
 是、れ、本、に、出、る、に、依、り、ま、た、
 以、て、四、十、五、年、如、日、上、

馬江

性
望
海
子
山
子
山

町下員之事 進行中、有之、因、

六、八、廿

（Faint vertical text in the background of the right page, mostly illegible due to fading and bleed-through.)

急

明治三十二年二月一日
金附三

乙卯三九一七

脚部内左記之事、地元受員、付し施行可相候條、
受員存望、修く、即大、年、四月、在縣、在、示、房、三、年、地、元、
受員規則、房、二、條、二、項、據り、地元受員人、更、後、其、人、
若、生、年、月、日、等、報、生、上、身、九、日、之、受員人、備、應、
生、願、請、員、下、年、之、我、生、願、候、存、即、指、置、相、成、度、也、
取、及、照、在、候、也、
明治三十二年六月

小縣郡役所房二課

（Red square seal impression)

城下村長田中守成

（Faint vertical text on the left side of the page, mostly illegible due to fading and bleed-through.)

託
一縣道村才街通地村字中、条道路修繕工事

[Faint background text, likely bleed-through from the reverse side of the page]

明治三十二年

甲第三八九

號

小縣郡城下村役場回議用紙
二月九日

長

助役

掛

掛

主役 下 方 市

長野
城下

名件

元受負人

長之 報 欠 一 付

按

本月五日付元三九一七号、口以、河原合、古、小、美、孫、道、
和、本、街、道、修、繕、工、受、地、元、受、負、人、名、託、三、人、名、選、校、三、付、
此、由、了、報、欠、三、付、

長 長

お

長

新報新報

市下下字中三系

明治三十二年

小縣郡城下村役場

町長

町長

町長

町長

町長

町長

町長

町長

町長

町長

町長

町長

町長

町長

町長

町長

町長

町長

町長

町長

町長

[illegible]

सिंहगिरि

子孫世世永承

大坂市大坂町酒蔵
 蔵主：酒蔵に大坂市大坂町酒蔵
 蔵主：酒蔵に大坂市大坂町酒蔵
 蔵主：酒蔵に大坂市大坂町酒蔵
 蔵主：酒蔵に大坂市大坂町酒蔵

安

五

出

性

大風吹水

丁卯年
二月
十六日

小觀雅集不憚勞勩回春

小縣郡城下村役場

前書之通少經邦以所為通陸公成文之有

此乃移座之

博古詩

地志
田中傳
佐郎

周中傳

臣等謹將
奏為

奏為

奏為

乙丑
三
四
五

甲寅
四
一
三
年

御部內左議事...
明詔三十二年四月

少尉

村下村長

託

一千四百通

[illegible]

14

任亥下元

工書上之竹清小議了云義有三三三竹明三月午辰一旺也
清不卷當經場、清集念在竹方以水乃清通知立也

不
下
不
三
馬

工部記

Handwritten text at the top right of the page.

Handwritten text in the middle right of the page.

Handwritten text in the lower right of the page, possibly a date or location.

Small handwritten characters.

Handwritten text in the middle left of the page.

Small handwritten characters.

Small handwritten characters.

Handwritten text at the bottom left of the page.

Vertical text on the far left of the page, possibly a page number or title.

堤防潰地一件。付市面狭

要巨奈明十八日正午迄

二當監措已上市出取有

長中九年進也

以九廿二年九月十七日

第二工事監措已主幹

寺里好放手南口重



城下お長田中宗北平一茂

文公
題

大英欽命駐劄金甌使臣
徐汝璣謹啟

大德一

參
桂

卷二 五

陽明三十二平
山第廿二卷

三
五
七

小兒

小縣郡城下村役場回議用紙

明治三十二年乙卯第三九〇號
五月五日
五月五日

皇上之

清江雜記、周報三件

汚明會月在牛年三月蛇籠之義我他元要員送此人、間右也
事外百本程、有之趣詳詞之義ハ、牛本お又字汚所
他元要員送此人用主逸作、汚左談在牛年ハリ此物乃
汚圓報要門

垣科員南修

冬

場

讀三
年
輒
成

林

大德元年九月八日

大藏新編
卷之八
通鑑

大日

卷之二

郡補助道編入魚入車交縣

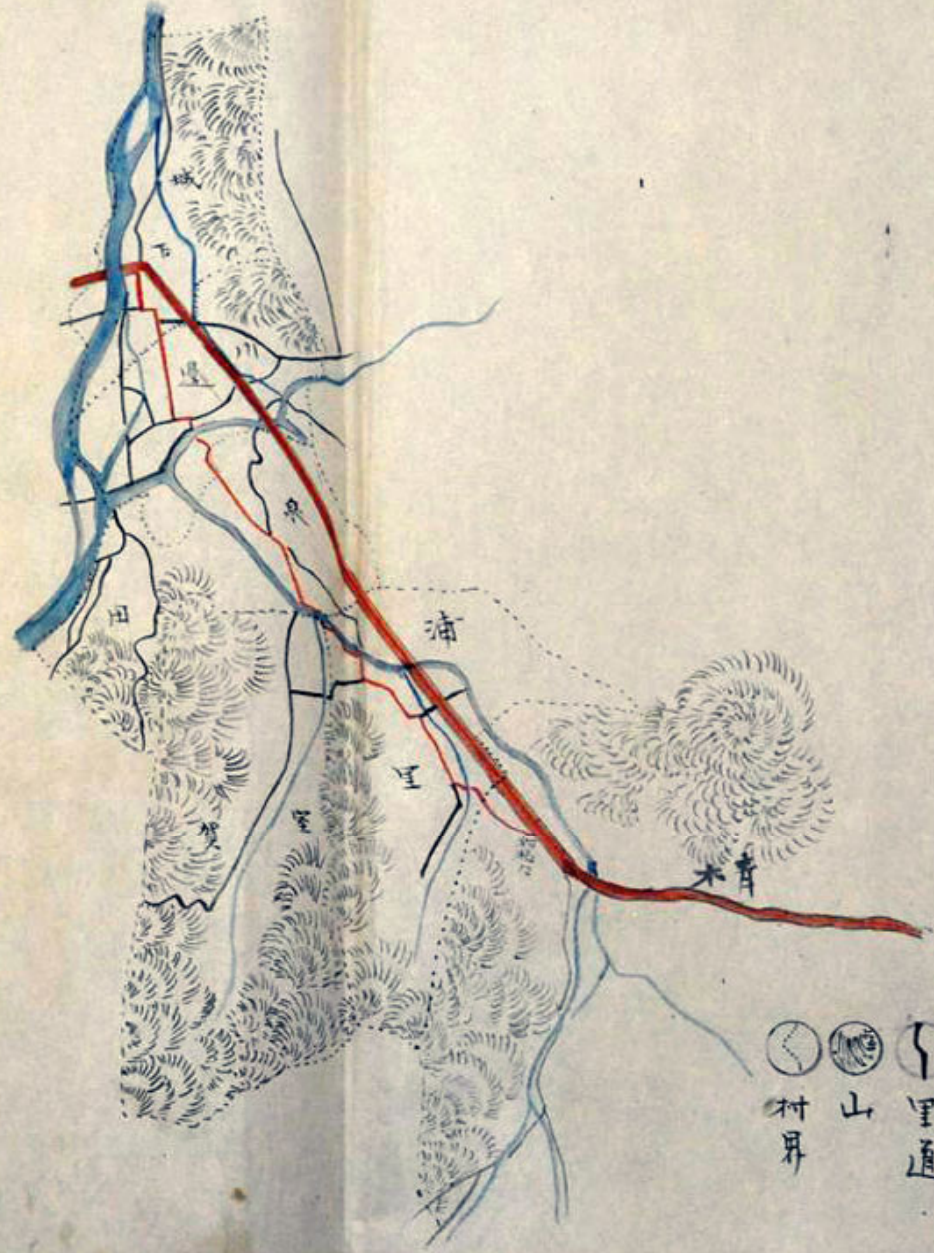
本郡城下村、邊泉田浦里青木、四ヶ村ヲ貫通スル里道、郡補道ニ編入シ、請テ、本線ニ城下村八字所即チ全村役場前ヨリ縣道方ニ線路ヲ分岐スルヲ契機トシ、全郡青木村ニ於テ又方ニ線路ヲ合スル處ヲ終點トシ、其延長六九三里即チ松本往還ナル旧縣道ナリ、然レ本線ハ塩田地方西部數村落ニ涉ル樞要里道ニシテ且ツ上田ヨリ松本ニ通スル近道ナリ、而テ本線路開通以來廢縣道ニ屬シタルモ旅客貨車ノ交通ハ更ニ以前變マズ殊ニ川邊村、如キハ本線ニ依ル、外ハ絶テ上田ニ通ズ、路ナク加之沿道各村ハ養蚕製種ノ本場タルヲ以テ產物ノ輸出額極メ厚ク、後テ肥料雜貨輸入ノ多額ナルハ勿論旅客爲メ出入郵便電信等モ繁劇ヲ極ム、其他地方學生、此線ニ依リテ上田ニ通學スル者、以テ數々、依テ先ツ本線ヲ通過スル一ヶ

軍人車交通貨物運輸ノ概數ヲ調査スルニ於テ是ノ如ク
一 通行人員十四萬四千八百人
一 貨物數三萬二千五百駄
一 荷車數三萬六千輛
一 通行駄馬二千五百五十頭
一 人力車數五萬三千三百六十輛
以上各述スルカ如ク本線ノ交通上ニ至ル便益ヲ與ルモ不拘縣
道廢線以來破損甚シク加之一昨車將害計本縣各所ニ太破ヲ生ジ且ツ
橋梁等流失スルモノ多ク當ニ人車交通困難甚シクナリ一般
民衆發達ヲ阻礙スル少ク非カラス然レモ本縣關係村ノ力ノ
不充實ニ完全ニ改修スル事ハ容易ノ業ニ貴重ヲ依リ本道ニテ郡補
線トシテ是レヲ改修スル事ハ人車交通ノ便ヲ得ルノミナラバ將

未大ニ地方經濟ヲ助ケ産業ヲ振起シ郡ノ公益ヲ増進セシムルモノ不
勘ト信シ茲ニ村會ノ議決シテ經テ付郡補助道ニ編入相成度關係村一同運
署ヲ以テ此段奉領ス也

明治三十二年二月

小縣郡城下村長田中実之郎



- 村界
- 山
- 里道
- 河川
- 縣道

縣「ヤ」是「郡補助道編入願」入車交廣「町」町「町」

本郡城下村以遠泉田浦里青木「西」村ヲ貫通ス所里道ヲ郡補助道編入請テ本線ハ城下村大字河所即チ全村役場前ヨリ縣道終點ヲ其延長スル里即チ本往還所ル旧縣道也然レ本線ハ塩田地方西部数村落ニ涉ル極要里道ニテ且ツ上田ヨリ松本ニ通ス近道ナリ而シテ二線路同通以來廢縣道ニ屬シタルモ旅客貨車ノ交通ハ更ニ以前ニ変テ殊ニ川邊村ノ如キハ本線ニ依ルノ外ハ絶テ上田ニ通ハルノ路ナリ加之治道各村ハ養蚕製種ノ本場ナルヲ以テ產物ノ輸出額極ノ多ク後ニ肥料雜貨輸入ノ多額ナルハ勿論旅客商人ノ出入郵便電信等モ繁劇ヲ極ム其他地方學生ノ此線ニ頼リテ上田ニ通學スルモノ日々百ヲ以テ數ノ依リ先ニ本線ヲ通過スル一ヶ

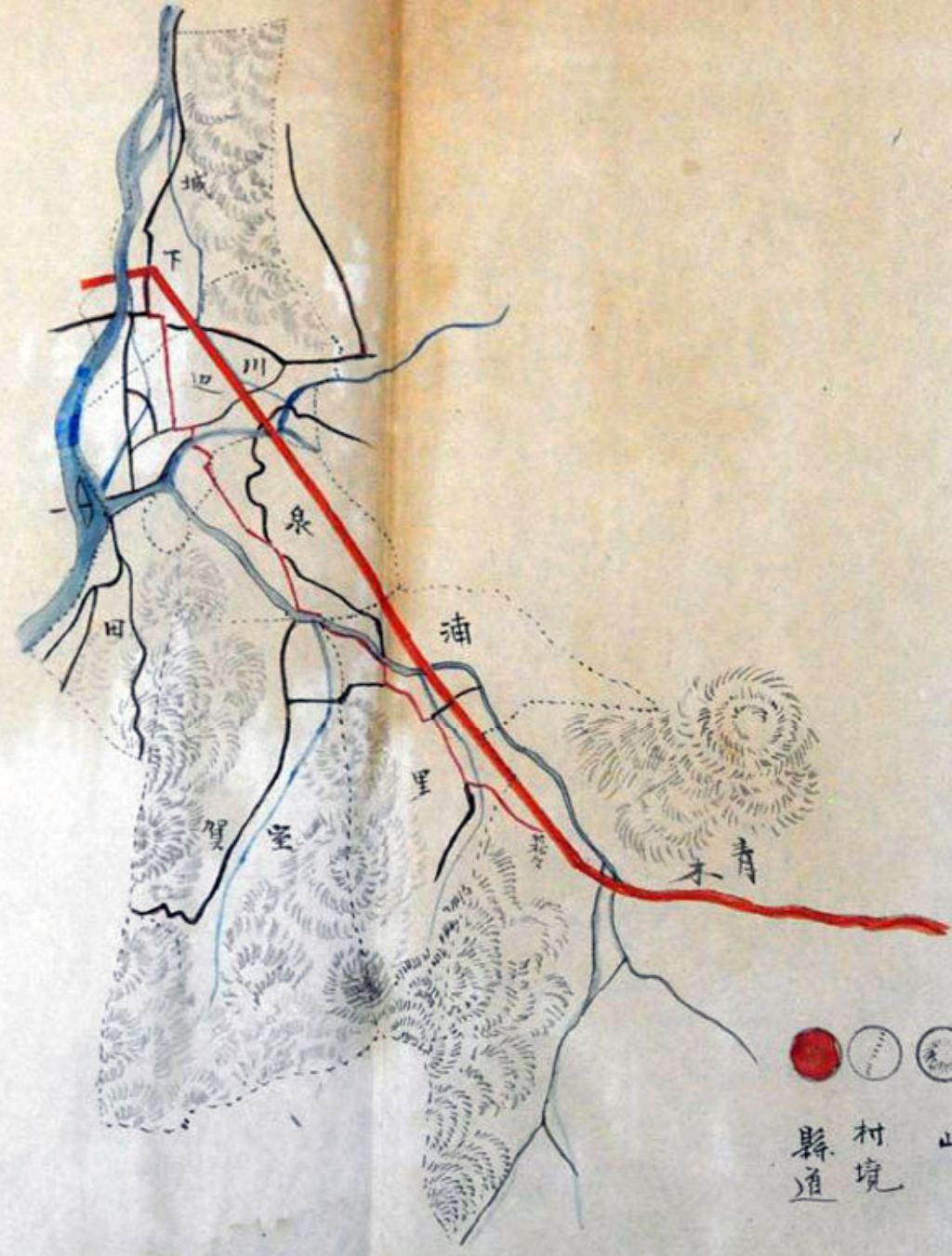
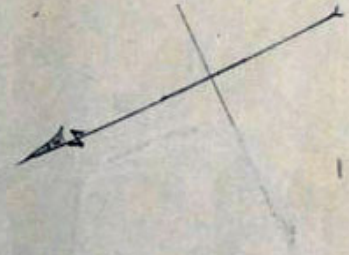


年人車交通貨物運輸、概數、調査、
一通行人員十四万四千八百人
一貨物數三万二千五百駄
一荷車數三万六千輛
一通行駱馬二千五百頭
一人力車數五万一千三百六十輛
以上畧述、ルカ如ク本線、交通上、至大ノ便益ヲ興、ルニモ不拘縣
道廢線以來破損甚シク加之、昨年水害、タメ各所ニ大破ヲ生シ且ツ
橋梁等流失セシモノ多ク當ニ人車交通、困難甚シク、ミナラズ一般
支業、榮達、ヲ阻礙スル少ク、非、ハ、然、ル、カ、關係村、ノ、カ、
線、ト、ナ、レ、是、レ、ヲ、改、修、ス、ル、ハ、人、車、交、通、ノ、便、ヲ、得、ル、ノ、ミ、ナ、ラ、ハ、將

未、大ニ地方經濟、ヲ、助、テ、産業、ヲ、振、起、シ、郡、ノ、公益、ヲ、増、進、セ、シ、ム、ノ、不
勤、ト、信、ジ、茲ニ村會、ノ、議、決、ヲ、經、テ、付、郡、補、助、道、ニ、編、入、相、成、度、關係、村、ニ、全、連
署、ヲ、以、テ、此、段、奉、願、ス、也

明治三十二年二月

小縣郡城下村長田中実方郎



意見書

本作ハ小縣郡泉田室賀兩村間ノ里道即補助道ニ編
 入ス可カラサルノ急務ナルヲ速ブルモノニシテ本線路ハ縣道
 第二路線泉田村字古吉町ヨリ分岐スルヲ起點トシ今村
 字町ノ泉ヨリ室賀村縦貫シ更級郡ニ達スル里道ニシテ
 延長實測壹里三拾町四拾間五分内泉田村分拾三町三
 拾間室賀村分壹里拾七町九間五分此内橋梁五ヶ所此
 延長路八間
 抑本線路改修ノ目的タヤ本郡ノ重モナル塩田一圓隣郡
 更級及坂城停車場篠ノ井停車場間並ニ於ケル



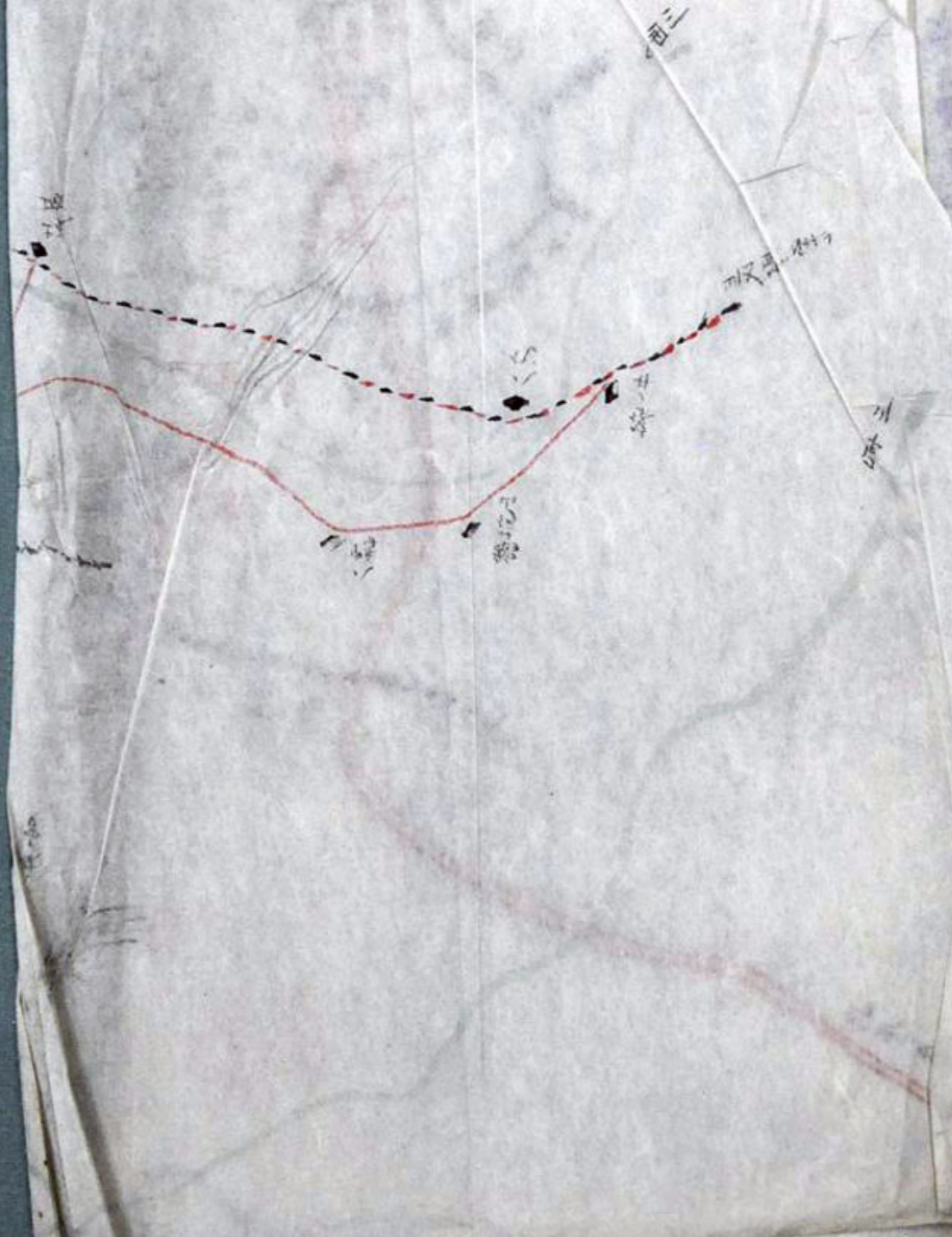
運輸交通、自由ヲ全フシ經濟上需用供給、便利ヲ得セ
 シ人、文藝達ヲ幸トシ、僥テ軍事ノ間道ニ供セントス殊ニ洪
 水其他事変ヨリ、今曲川渡川ニ能グル場合ニアリハ
 本線路ヲ通行スル外他ニ使アル見ズ況ンヤ最モ近路
 タルニ於テラヤ故ニ既往ニ鑒ミ、將來ヲ推測シ、一郡公益
 ノ為ニ利害アル所ヲ開陳セントス
 第一本線路ヲ通過スル一ヶ年人員貨物員數及種
 類概日左ノ如シ
 一通行人員七萬三千人（但シ村内人員ヲ除ク）
 一貨物數壹萬八千二百五拾駄

一荷車數壹萬六千輛
 一通行駄馬數三千二百五拾頭
 一人力車數五千七百七拾五輛
 一貨物數類
 穀類 肥料類 薪炭 材木
 和紙 紙屑 生糸 繭楮 煙草 干瓢
 漆柿 石油 砂糠 魚類 其他數種
 茲本線、更級郡境ニ達スル 前拾八所、四拾五間ノ處
 即チ上室賀、中央字神門ヨリ 東筑戸郡ニ達スル 里道
 延長（三拾五所、五拾三間ニ分）アリ 現ニ工事申中ナル 篠井松
 本間、致道線路間通スルニ於テハ 當郡ヨリ該線路ニ東

筑戸郡麻績駅に達スル最近路ニシテ又軍事上ニアリテハ
東筑戸郡兵營ヲ新設セラル、今日戰時ハ勿論平時
左郡兵士ノ入隊際ニ際シ郡内無比ノ便道ニシテ該線ノ東
客貨ノ貨物運搬上是又比類ナキ近路ニシテ副有セリ
依テ將來交通運搬ノ程度各數倍スルヲ信ズ如斯
分線有シ一舉兩便ノ線路ニシテ地勢モ亦峻悪ナラズ
容易ニ改修シ得ベシ然ルニ本線路ハ狹隘ノ為メ貨物
運輸ノ困難ヲ極メ從テ巨額ノ運賃ヲ徒費シ需供
兩者ノ損害ヲ來ス自然事ノ業ノ發達ヲ阻礙スル事
歟カラズ如斯本線ヲシテ郡補助道トナシ改修スルノ
概

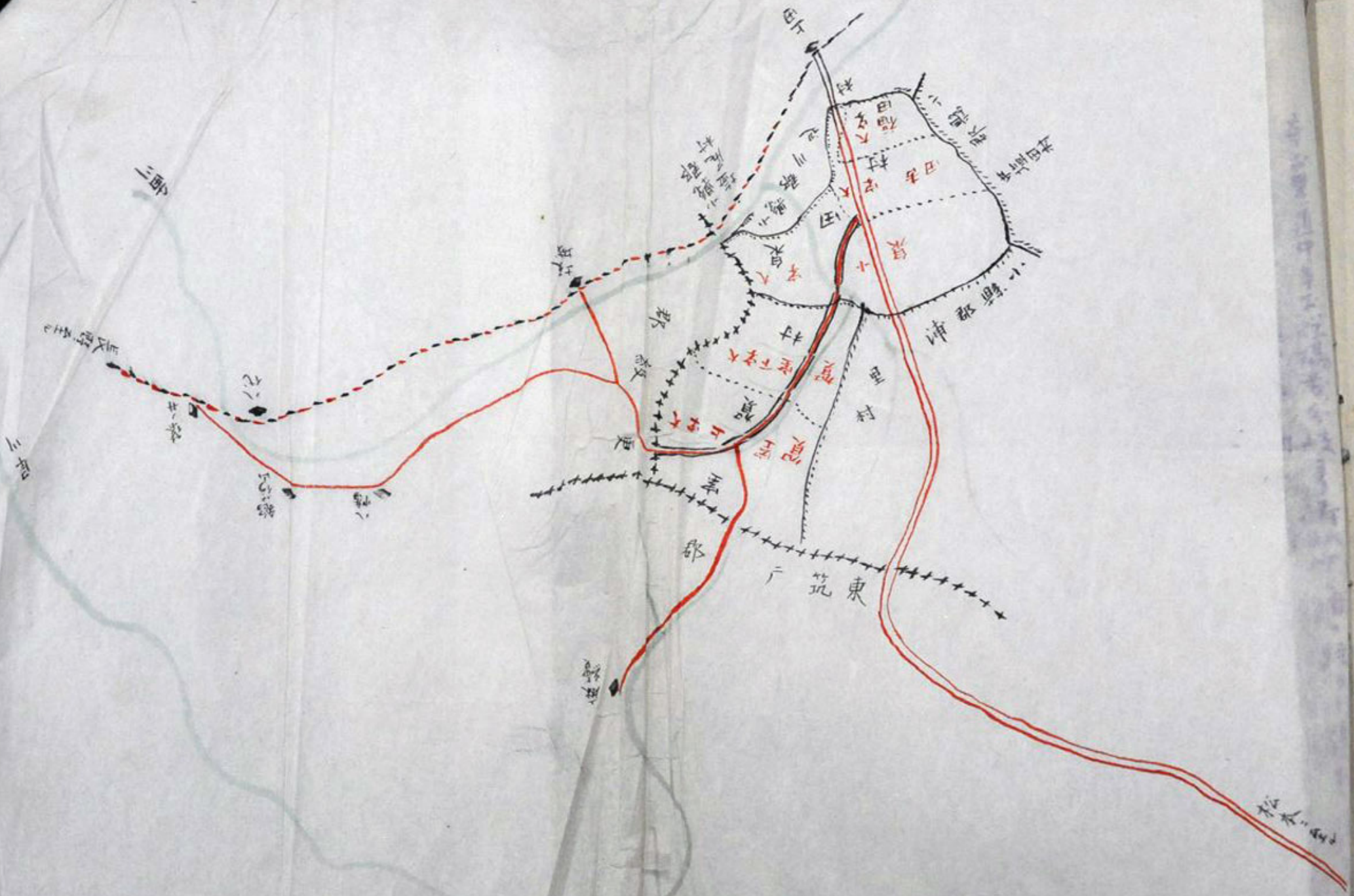
東ノ地方經濟ヲ助ケ産業ヲ振起セシメ格ニ重要
村ノ如キハ新炭材ノ富ニ又清流アリ右末制衣造工
業地トシテ嚮望ノ村落ニシテ該線ニ於テラヤ
以上陳述スル如リ一郡一般ニ對シテ經濟事業ヲ發
達セシムル點ニ於テ將リ人文發達ヲ裨益スルノ上
於テ郡代表スル議會ノ精神ニ適フ者ト信ジ候間
兩村會ハ町村制第ニ十五條ニ依リ謹デ意見具申
候也

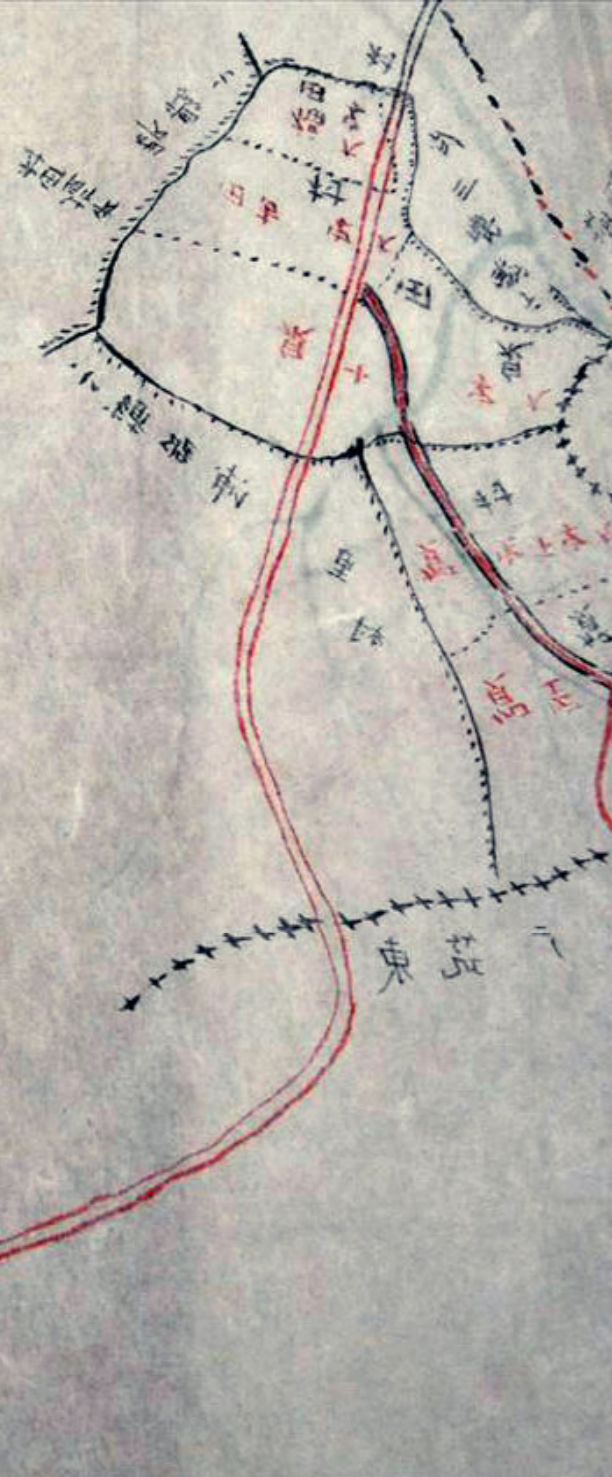
小縣郡室賀市長藤井金吾
小縣郡室賀市長石井信三郎



Handwritten text in Chinese characters, organized into vertical columns within a rectangular frame defined by orange lines. The text is written in a cursive style. The first column on the left contains the characters '長城' (Great Wall). The subsequent columns contain various characters, including '三', '四', '五', '六', and '河', which correspond to the labels on the map in the adjacent image. The text appears to be a descriptive or narrative account related to the map.

北





本所里道中至本役場前分岐より新所中へ條路を川邊に築き
里道より即道補助線に編入を請ふこと

理由

本所里道中至本役場前分岐より新所中へ條路を川邊に築き
交通非常ノ難劇ナルモノ故ニ該道路より新道廢線以來破損
甚シク加ヘ昨夏水害ノ大破ラシキ修繕ヲ要スル一
負擔ニ堪ヘズ以テ茲ニ本所ノ決議ヲ經テ即道補助線に編入
シテ連等即道補助線に其ノ補助ヲ得テ修繕ヲ加ヘ交通ノ便
ヲ圖ルモノナリ故ニ以テ

明治三十二年六月一日

田中實太郎



田中實次郎
 長野縣
 城下村長
 田中實次郎



田中實次郎
 長野縣
 城下村長
 田中實次郎

田中實次郎
 長野縣
 城下村長
 田中實次郎

田中實次郎
 長野縣
 城下村長
 田中實次郎

田中實次郎
 長野縣
 城下村長
 田中實次郎



田中實次郎
 長野縣
 城下村長
 田中實次郎

田中實次郎
 長野縣
 城下村長
 田中實次郎



Handwritten text in vertical columns, likely a continuation of the official report or a related document. The characters are in a cursive script.

出庄

Handwritten text in vertical columns, possibly a list or a detailed account.

持證陳在昨日未依款亦見

年郡道補助線編入願意

見書花之圖面相添如日以來便

差上建

但本村關係道路開教、追戶
取調由了通知仕安米

世第二月十者

泉岡村役場



城下村役場

敬告幼學

鐵園茶

泉田

新學一週 + 40

可於今夜或
翌日通

張

日本古史考

[illegible]

是
月補
取
道
編
入
統

寺戸下より川邊 龜田浦里 青木ノ四ノおラ 要浦
 里道ヲ再補耶道ニ編入ヲ請フモノニテ 抑々本線ハ
 下ノ大寺浦迄行ケルおラ傷あり 和道方ニ線路ヲ分岐ス
 ルヲ記スモノ 左ノ青木おラ寺岡ニ在テ又方ニ線路ニ合
 ス 知ラ終トスモノ也 延喜スル三里行ケ松子往深ナル
 旧和道より然レテ今線路修メ要キモノ 塩田地方
 西郡名お落ニ 南所ノ浦ニ 松要里道ニ在テ且以上田
 程子一浦スル迄路ヤルモノニ 二線路用道以來廢和道
 外ニモ旅客貨車ノ交通ハ勇ニ以前ニ変ルナリナリ
 加エ道路名本ハ養畜製種ノ本場ナルヲ以テ産物
 ノ輸送額極大ナルヲ増シ 旺行雜貨ヲ輸メテ新ナルハ

意見書

本件ハ小縣郡泉田室賀兩村間ノ里道郡補助道ニ編入欠クヘカ
 ラサルノ急務ナルヲ述フルモノニシテ本線路ハ縣道第二路線
 泉田村字古吉町ヨリ分岐スルヲ起点トシ全村字町小泉ヨリ室
 賀村ヲ縦貫シ更級郡ニ達スルノ里道ニシテ延長實測壹里三十
 町四十間五分内泉田村分十三町卅一間室賀村分壹里十七町九
 間五分此内橋梁五ヶ所此延長四十八間
 抑本線路改修ノ目的タルヤ本郡ノ重ナル鹽田一圓隣郡タル更
 級及坂城停車場篠ノ井停車場等ニ於ケル運輸交通ノ自由ヲ全
 フシ經濟上需用供給ノ便利ヲ得セシム人文發達ヲ主トシ併セ
 テ軍事ノ間道ニ供セントス殊ニ洪水其他ノ事變ニ依リ千曲川
 渡川スル能ハサル場合ニアリテハ本線路ヲ通行スルノ外他ニ
 便アルヲ見ス況ンヤ最モ近路タルニ於テオヤ故ニ既往ニ鑑ミ
 將來ニ推測シ一郡公益ノ爲メ利害アル所ヲ開述セントス

海名王作物・維持・滋養
 海名王作物・維持・滋養
 海名王作物・維持・滋養

第一本線路ヲ通過スル一ケ年人員貨物員數及種類概目如左
(但シ村內人員ヲ除ク)

一 通行人員 七万三千人
一 貨物數 壹万八千二百五十駄
一 荷車數 一万六千輛
一 通行駄馬數 三千六百五十頭
一 人力車數 五千四百七十五輛
一 貨物種類 穀類 肥料類 薪炭 材木 和紙 紙屑
生絲 繭 楮 烟草 干瓢 串柿 石油 砂糖 魚類
其他數種
茲ニ本線ハ更級郡境ニ達スル前十八町四十一間ノ所即チ上室賀ノ中央字神門ヨリ東筑摩郡ニ達スル里道延長卅一町五十三間五分アリ現ニ工事中ナル篠ノ井松本間ノ鐵道線路開通スルニ於テハ當郡ヨリ該線路タル東筑摩郡麻績驛ニ達スル最近驛

ニシテ又軍事ニアリテハ東筑摩ニ兵營ヲ新設セラル、ノ今日戰時ハ勿論平時本郡兵士ノ入除隊ニ際シ郡內無比ノ便道ニシテ該線ノ乘客並ニ貨物運搬上是又比類ナキ近路タル分線ヲ副有セリ依テ將來交通運輸發達ノ程度各數倍ナルヲ信ス如斯分線ヲ有シ一舉兩便ノ線路ニシテ地勢モ亦險惡ナラズ容易ニ改修シ得ヘシ然ルニ本線路ハ狹隘ノ爲メ貨物運輸ノ困難ヲ極メ從テ巨額ノ運賃ヲ徒費シ需供兩者ノ損害ヲ來シ自然事業ノ發達ヲ阻碍スル事尠カラズ如斯本線ヲシテ郡補助道トナシ改修スルノ曉ニハ將來大ニ地方經濟ヲ助ケ産業ヲ振起セシメトシテ望ノ村落ニアル該線ニ於テオヤ以上陳述スル如ク一郡一般ニ對スル經濟事業ヲ發達セシムル點ニ於テ將タ人文發達ヲ裨益スルノ上ニ於テ郡ヲ代表スル議

海軍工作物維持費

會ノ精神ニ適フモノト信シ候間兩村會ハ町村制第三十五條ニ
ヨリ謹テ意見具申候也

明治卅一年二月十二日

小縣郡室賀村長藤井左金吾

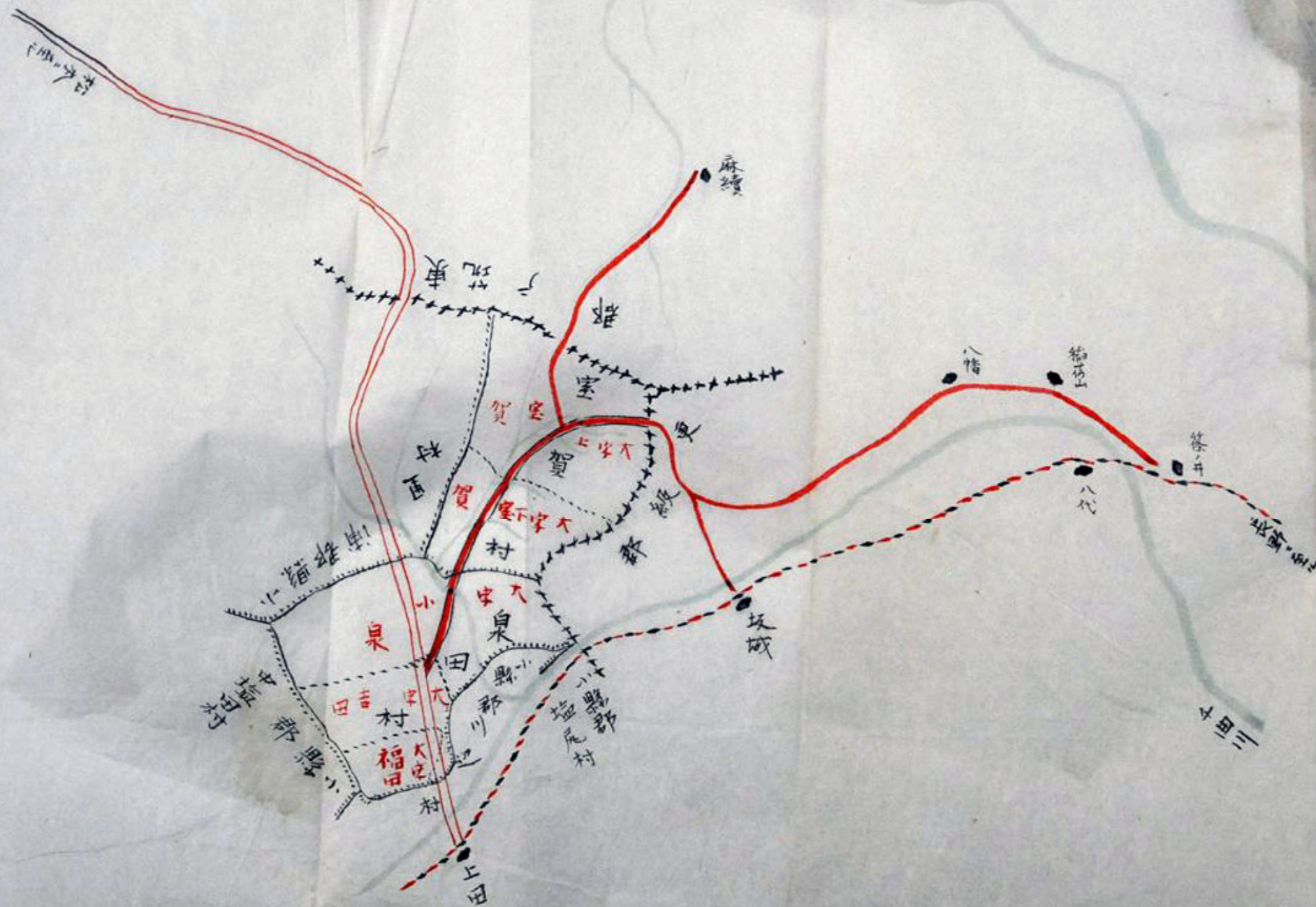
小縣郡泉田村長石井傳三郎

小縣郡長中嶋精一殿

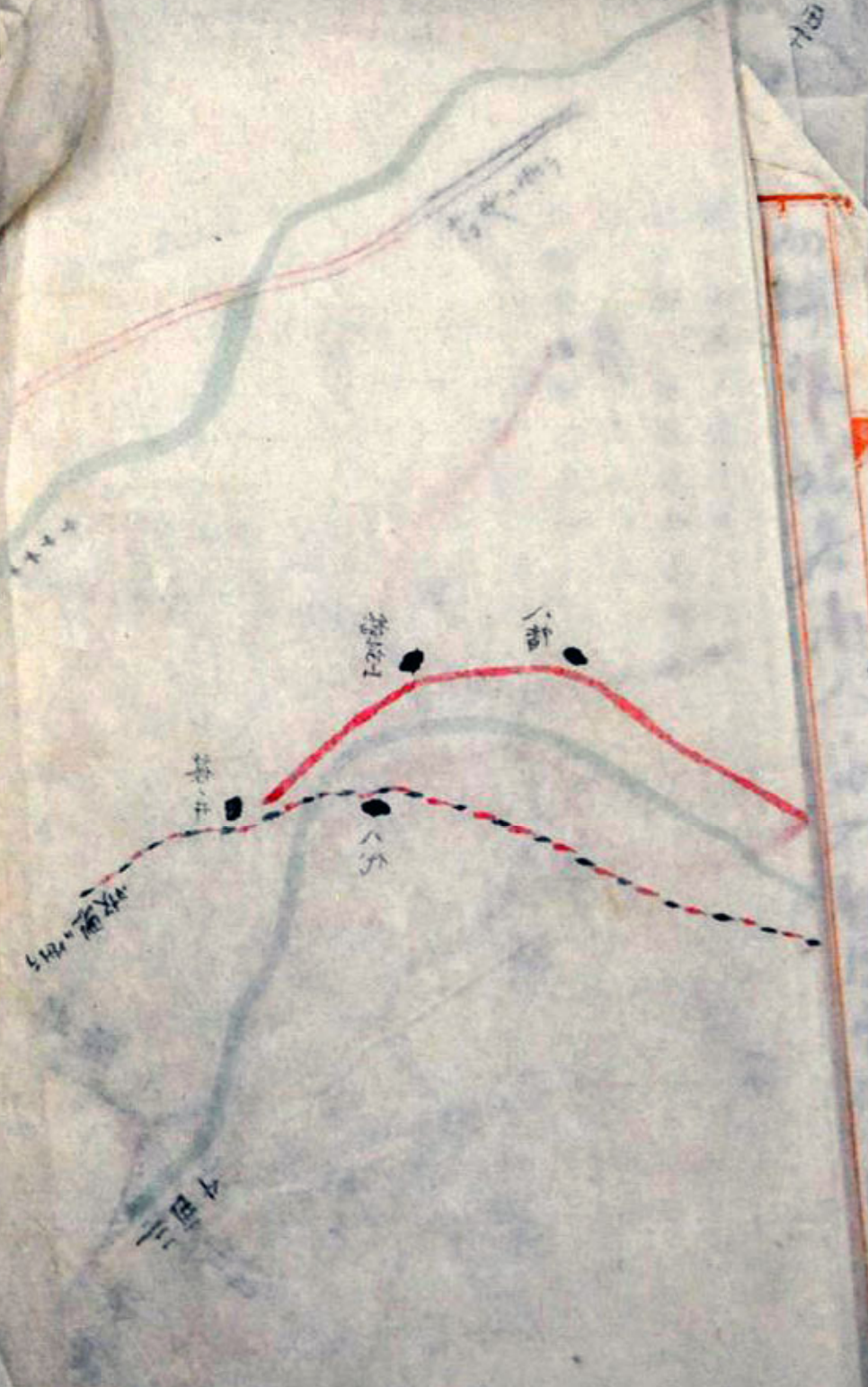
（Faint background text, likely bleed-through from the reverse side of the paper, containing various characters and phrases.)



海老工作物維持注意



昭和二十二年六月一日



甲子七歳

公防施設、義

甲子五三三

之地又関係

ト存在、共一

名之材料

事、其之

築、其之

歩、合

此、其

、其

、其

、其

、其

、其

、其

、其

、其

、其

、其

、其

、其

、其

、其

、其

、其

、其

、其

、其

、其

、其

、其

、其

、其

、其

、其

、其

、其

九先男六六

長
子



城下村
九代男六六

九先男六六

